

2022年8月22日

報道機関 各位

長崎大学で学ぶウクライナ学生が福島県浜通りを訪問 ～福島県被災地視察研修を実施～

8月25日(木)～27日(土)、長崎大学では、現在本学が受け入れているウクライナ避難学生たちが福島県の震災・原発事故からの復興を視察する研修会を実施します。これは震災直後より長崎大学における福島復興支援の中核を担ってきた本学の福島未来創造支援研究センターの協力の下、(財)「福島イノベーションコースト構想推進機構」が実施している「大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業」の一環として行うものです。

この視察では、世界に類を見ない複合災害から復興の歩みを進める被災地の姿に触れ「復興知」、すなわち福島復興に資する知の重要性について考えます。長崎大学は、1986年に起きたチヨルノービリ原子力発電所(現ウクライナ)の事故において、現地で健康調査、医療支援を行った日本で最初のチームの一員でした。その時に得られた知見は、まさに復興知として、福島県における原発事故対応で役立てられています。

これまで長崎大学で学ぶウクライナ学生たちは、平和学習の特別講義などを通して、原爆から復興を遂げた長崎の姿を学んできました。続いて今回の福島県の被災地視察を通して「復興」における学びの継続、知識の蓄積や教訓の継承の重要性を考え、さらにはウクライナと長崎大学、福島県とのつながりを知る機会となることを狙いとしています。

記

研修日程 : 2022年8月25日(木)～27日(土)

参加者 : 長崎大学来学中のウクライナ学生、研究者 12名(予定)

プログラム : 別紙参照 ※取材可能なプログラムは8月26日(金)午前のみとなります

【事前申込】取材にご来場される方は8月24日(水)正午までに下記問い合わせ先まで、メールにてご連絡をお願いします。メールタイトルには「視察研修取材申込」と記載ください。

<新型コロナウイルス感染対策について>

取材にあたっては、3回のワクチン接種を済ませていただくことを原則とします。なお持病等でワクチン接種が出来ない方は、取材の前に抗原検査により陰性をご確認ください。他の方も抗原検査により陰性を確認いただくことを推奨いたします。また、取材当日、発熱(目安として37.5度以上)や咳の症状があったり、体調のすぐれない方、以下の点にご協力いただけない方は取材をご遠慮いただきますので、予めご了承ください。

- ・原則、マスク等の着用をお願いいたします。
- ・受付時に検温させていただくとともに、手指消毒をお願いします。

【本リリースに関するお問い合わせ先・取材事前申し込み先】

国立大学法人長崎大学 広報戦略本部

TEL : 095-819-2007 Mail : kouhou@ml.nagasaki-u.ac.jp

別紙

【ウクライナ学生 福島県被災地視察研修プログラム（予定）】

8月25日(木)

15:00 ① 請戸小学校津波遺構見学

8月26日(金)

9:00 ② ・東日本大震災・原子力災害伝承館見学
・講義 復興支援の歩み(仮)
高村昇 伝承館館長
・ディスカッション

報道公開

13:30 ③ ・講義 チョルノービリから福島への教訓(仮)
山下俊一 長崎大学名誉教授 福島県立医科大学副学長
・ディスカッション

15:30 ④ 環境放射線測定調査視察(福島大学環境放射能研究所)

8月27日(土)

9:30 ⑤ ドローンパーク川内 復興の取組み紹介、見学

※全てのプログラムは英語で行われます。

※通訳は付きません